

Akari Honda - Student Profile



茨城県出身の明里さんは現在、アベリストウィス大学・ケルト研究学科の一年生です。学部に入學する前に、彼女はインターナショナル・イングリッシュセンターのサマーコースを経て大学準備コースを修了しました。

明里さんはアベリストウィスでの生活を楽しみ、またケルト研究学科を通して民俗伝承やファンタジーについて学べることにとてもわくわくしています。彼女はまた、大学主催の一般向けのウェールズ語コースにも参加しました。以下は、明里さんのアベリストウィスでの体験談です。

「私は、去年大学準備コースを受ける前に12週間のサマーコースに参加しました。それは私にとってとてもすばらしい体験でした。世界中のさまざまな国からたくさんの生徒が参加していて、彼らと自分の国の文化について話し合ったりすることはとてもおもしろかったです。コース初日はもちろん緊張していましたが、スタッフや先生方はとても優しくフレンドリーだったので、リラックスして授業を楽しむことができました。

毎週、週末には日帰り旅行に参加することができ、カーディフやリヴァプール、チェスターなどの魅力的な街を訪れることができました。そのほかにもいろいろなイベントがありましたが、その中でも記憶に残っているのはアベリストウィスのビーチでのバーベキューです。海に沈む夕日はとてもきれいで、それを見ながら食べる食事は本当においしかったです！

アベリストウィスは中部ウェールズに位置しています。ウェールズには英語のほかにウェールズ語が公用語として使用されており、すべての標識は英語とウェールズ語で表記されています。私が初めてここを訪れた時は、まるでイギリスではない別の国にいるかのような感じがしました。ウェールズ語の簡単な挨拶を覚え、それを使えることができた時にはとてもうれしかったのを覚えています。

小さい頃から読書が好きで、とくにファンタジー小説やおとぎ話などをよく読んでいました。そのうちに、ヨーロッパのファンタジー小説はケルト人の文化に基づいているものが多いことに気づき、彼らがどのような人々で、彼らの歴史、文化、ライフスタイルはどのようなものだったのか、興味を持つようになりました。イギリス国内でもあまりメジャーな学科ではありませんが、私にはとても魅力的だったので、ケルト研究を専攻することに決めました。

アベリストウィス大学は、この分野においてイギリス国内でトップクラスの大学です。学科の主な内容はケルトの言語と文学ですが、他にもケルトの文化、音楽、歴史などを学ぶことができます。交換留学の制度もあり、アイルランドまたはフランスのブルターニュの大学で1～2学期、言語の勉強することができます。

この学科を卒業した後は、人々にもっとケルト文化について知ってもらえるような仕事に就きたいと思っています。」